

まず広島、長崎を訪問してほしい。

大統領自らの目で、核の脅威を実感すれば、米国が

率先して核削減に取り組むきっかけになるだろう。世界の核廃絶も急ピッチで進むと思う。(広島市西区)

週間が慌ただしく過ぎた。父の介護保険の手続き、母の退院後に備えた手すりの設置依頼や福祉用具の申し込みも済ませた。

あれほど頑固で亭主関白だった父が、いつのまにか年老いて、廊下に漏らしたおしっこを、娘に見られま

老いた父 止まらぬ涙

介護職員

山本 悦子 57歳

大分県佐伯市から広島に嫁いで35年。あれから生活に追われ、何一つ親孝行しないうちに、両親は介護が必要な年齢になっていた。

母は腰の骨を折り入院

中。父は家事の一つもできないまま、一人で生活している。

母が「お父さんが心配だから帰ってあげて」と入院先から涙声で電話をしてきた。私が働いていることを知っての上での願いだった。

慣れない道を8時間かけて軽自動車で急ぎ帰った。実家に着くと85歳の父は、何も言わずに目に涙を浮かべて、じつと私の顔を見上

げていた。

H24.11.13 中国新聞

翌日から父の病院への送り迎え、炊事、洗濯、掃除、母の入院先への往復など1

いと一人拭いている後ろ姿がふびんで、涙が止まらなかつた。(広島市佐伯区)

神楽にぎわい懐かし

無職 靱田 カ 85歳

標高千級級の高山群に囲まれ、西石見の秘境と呼ばれた私の古里は、石見神楽

舞われ、最終演目は「八岐大蛇退治」であり、そのころには夜が白みかけ、眠りこけている子もいた。

の盛んなどころである。私は物心ついたころから、神楽はやしを聞いて育った。

秋祭りの終わった後の幾日か、子どもたちは稲ぶすまに囲まれた田んぼの中

で、神楽遊びを楽しんだ。しの中で、年に1度の神楽を見ることが唯一の楽しみであった。祭りずしを重箱に詰め、家族連れで出掛け

お面を作った。小太刀や弓矢などの小道具は大人に作ってもらい、

当時の神楽は夜を徹して

太鼓代わりに四斗たるをた